

森づくり最前線

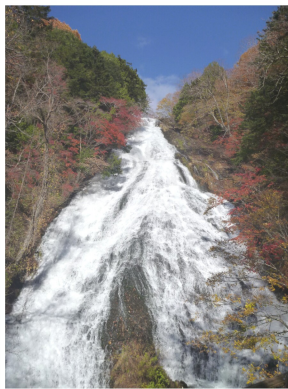
日光森林管理署

日光森林事務所

首席森林官 鶴田 直人



小田代湿原



湯滝

日光市は、平成18年3月に2町1村が合併し、栃木県北西部の広範にわたる日本で3番目の面積を持つ自治体です。私の勤務する日光森林事務所は、合併前の旧日光市のエリア、日光担当区約4、200ha、奥日光担当区約9、700ha、官行造林約50haを管轄しています。霊峰男体山・女峰山の麓、大半が保安林や国立公園に指定されています。



男体山・中禅寺湖(半月山展望台より)



カラマツ林床に咲くアカヤシオ

いには天然記念物の「日光杉並木」が残る、歴史のある街です。奥日光は高地にあり冷涼な気候から、明治時代には大使館や外国人の別荘が建ち並び国際避暑地として賑わった歴史を持ち、また戦場ヶ原や中禅寺湖、華厳の滝をはじめ数々の名瀑、季節毎の花々等、風光明媚なスポットが広がり、多くの観光客が訪れます。奥日光へ向かう「いろは坂」は紅葉や渋滞で有名で、特に秋のシーズンは時間帯によつては現場出張も難儀するほどです。現場巡視の中で、索道や石積の跡といった遺構を発見することもあり、古くからの観光地ならではの開発の歴史を垣間見ることがもできます。



生分解性テープを設置したカラマツ林

このような土地柄、森林事務所の業務は国有林野の貸付に伴う用務が多くを占め、またカラマツを主体とした造林地での生産事業も行っていきます。

さらに当地は、シカやクマによる樹皮剥ぎの被害も多く見られることから、その対策として、木の幹に生分解性テープ等の巻き付けや保護林でのシカ進入防止柵の修繕をしています。シカ対策として



シカ柵修繕作業

は関係機関が連携し、湿原の保全やシカの捕獲等を行うほか、近年は日光国立公園の魅力向上に向けた再整備が進んでおり、森林管理署もこれらの取り組みに協力しています。土地管理者として景観や森林を守り良い形で引き継いで行くことが重要であると考え、日々業務に当たっています。

発行所 関東森林管理局
編集総務課
TEL(027)210-1158
FAX(027)230-1303